

主張

新型コロナウイルス
に対応するワ
クチンが世界
各地の製薬機
関によって開

なつたことは喜ばしいこ
とである。しかし手放し
では喜べない問題を内
包している。すなわちワ
クチンの開発を急ぐあま

BSニュースでワクチン
接種による副作用が報じ
られたが、接種によりア
ナフィラキシー反応の発
生がデータを補正しても

るが、現場の従事者の的
確な治療の結果の成果で
あろうと推測する。
今後の接種は被接種
者の拡大によりアナフィ

するべきである。万が一
の被害者発生の場合には法
制上の補償が可能な環境
の整備を特に行うべきで
はないかと考える。

同時に並行して、

無症状者による第

4波の感染拡大防

止のために、PCR

検査の社会的適応

を拡大し、血清レベ

ルの流行を把握し、

医療側も行政側も

官民挙げて新型コロナを

抑圧し、この難局を乗り

切る覚悟がせつに望まれ

る。

発され、2月20日

よりわが国にも米

ファイザー社のワク

チンが供給され始

めた。対コロナ政

策が大きく変わる

可能性が期待され

る状況となった。

令和2年12月、中国武漢

で原因不明の肺炎として

発見されてから1年3か

月、比較的短時間でヒト

に注射可能なワクチンと

り、わが国でのこのワク

チンの有効性と安全性の

確認を行う第Ⅲ相試験

がクリアされていないこ

とである。3月12日、T

米国の数倍以上あったと

いうことである(米・10

万人で0・5人、日・18

万人で7人)。幸い死亡

事故はなかったようであ

ラキシシーショックに不慣

れな者が実施する可能性

も大きくなることが杞憂

されるが、アナフィラキ

シー対策をしっかりと考慮

新型コロナと向き合う